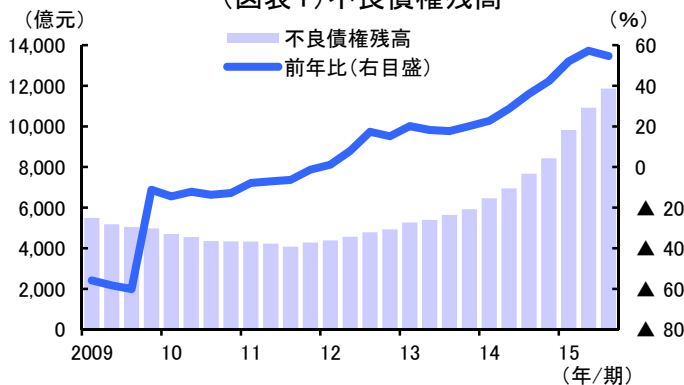


深刻化する中国の不良債権問題

— 金融機関の追い貸しで問題先送り —

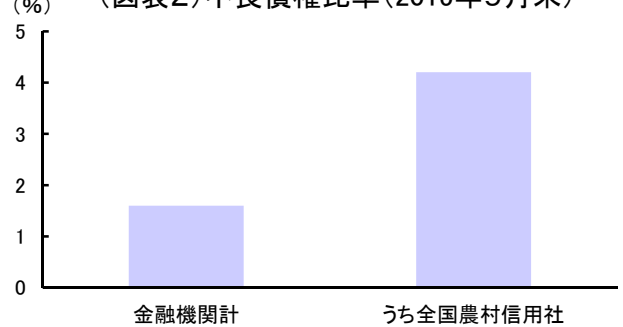
- (1) 中国では、景気減速下、不良債権が急増。中国銀行業監督管理委員会によると、2015年9月末の全国金融機関の不良債権残高は1兆1,863億元（約22兆円）と前年9月末対比54.7%増加し、不良債権比率は1.6%に上昇（図表1）。
- (2) もっとも、公式統計には①オフバランスの与信が対象に入っていない、②不良債権の認定が甘い、等の問題があり、実際の不良債権は公式統計を大きく上回る規模と判断可能。不良債権問題が深刻化するなか、中国人民銀行は2016年のマクロ経済を展望するにあたり、不良債権比率の上昇が主要リスクの一つであると明記しており、中央経済工作会議では不良債権処理を翌年の重要課題の一つと指摘。
- (3) 金融機関別にみると、とりわけ農村信用社の不良債権比率が高水準。中国人民銀行の「2015年第三季度中国貨幣政策執行報告」によると、農村信用社の不良債権残高は5,000億元、不良債権比率は4.2%（図表2）。融資先別にみると、採掘業、製造業、建設業、卸小売業、不動産業で不良債権比率が高いとみられ、企業規模別では、不良債権の大半は中小企業向け。
- (4) 不良債権問題は金融機関の資本を毀損する一方で、その処理が本格化すれば、収益性が劣る事業を抱える企業が市場から退出し、市場メカニズムに則った新陳代謝が進むと期待。ただし、実際には追い貸しが行われており、2015年入り後の銀行融資残高の増勢は加速（図表3）。融資統計がとれる工業部門をみると、生産活動に急ブレーキがかかるなか、一部では赤字企業が市場から退出する動きもみられるものの、全体でみれば工業向け融資は一段と拡大し、新陳代謝の動きは限定的（図表4）。追い貸しは、問題の先送りに他ならず、その間に不良債権問題は一段と深刻化する恐れ。

(図表1) 不良債権残高



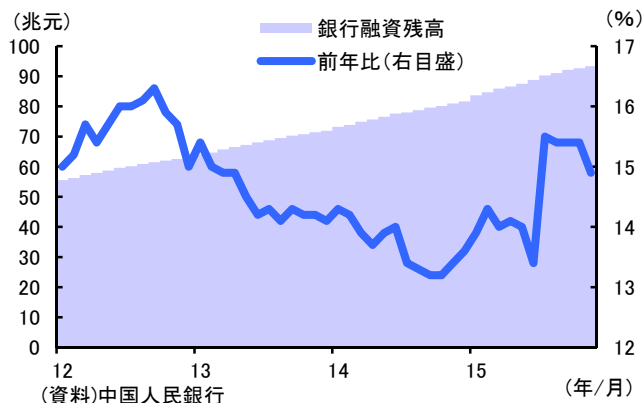
(資料) 銀行業監督管理委員会「銀行業監督統計指標季度情況表」

(図表2) 不良債権比率(2015年9月末)



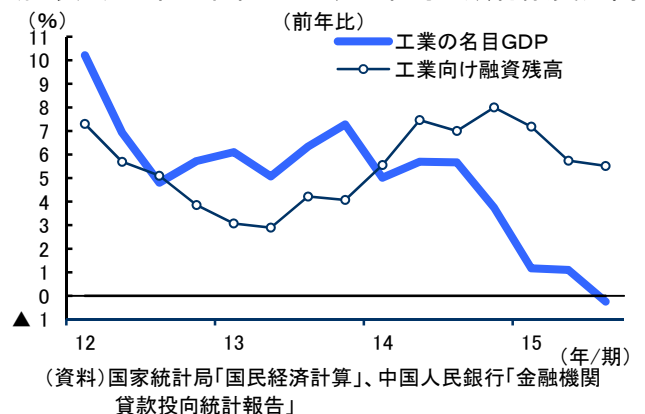
(資料) 金融機関計は銀行業監督管理委員会「銀行業監督統計指標季度情況表」、全国農村信用社は中国人民銀行「2015年第三季度中国貨幣政策執行報告」の値

(図表3) 銀行融資残高



(資料) 中国人民銀行

(図表4) 工業の名目GDP、工業向け銀行融資残高



(資料) 国家統計局「国民経済計算」、中国人民銀行「金融機関貸款投向統計報告」